

# KDDIのサイバーセキュリティ対策とAI活用

---

KDDI株式会社

2024年5月27日

# 通信事業者が守るネットワーク

自然災害、サイバー攻撃などの脅威から、通信インフラを守るのが通信事業者の使命

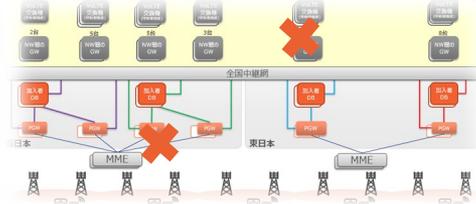


## 通信への脅威

### 自然災害



### 設備障害

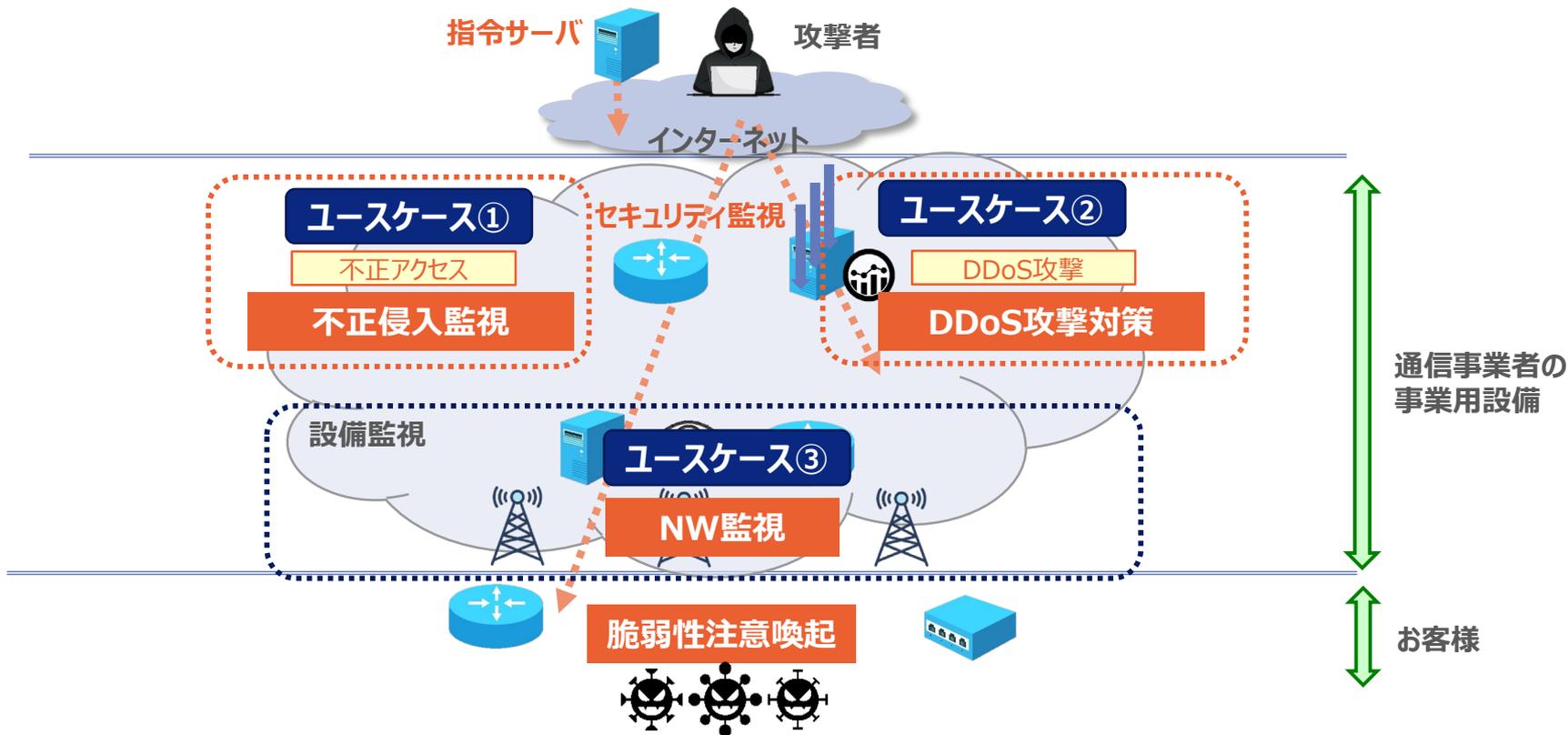


### サイバー攻撃



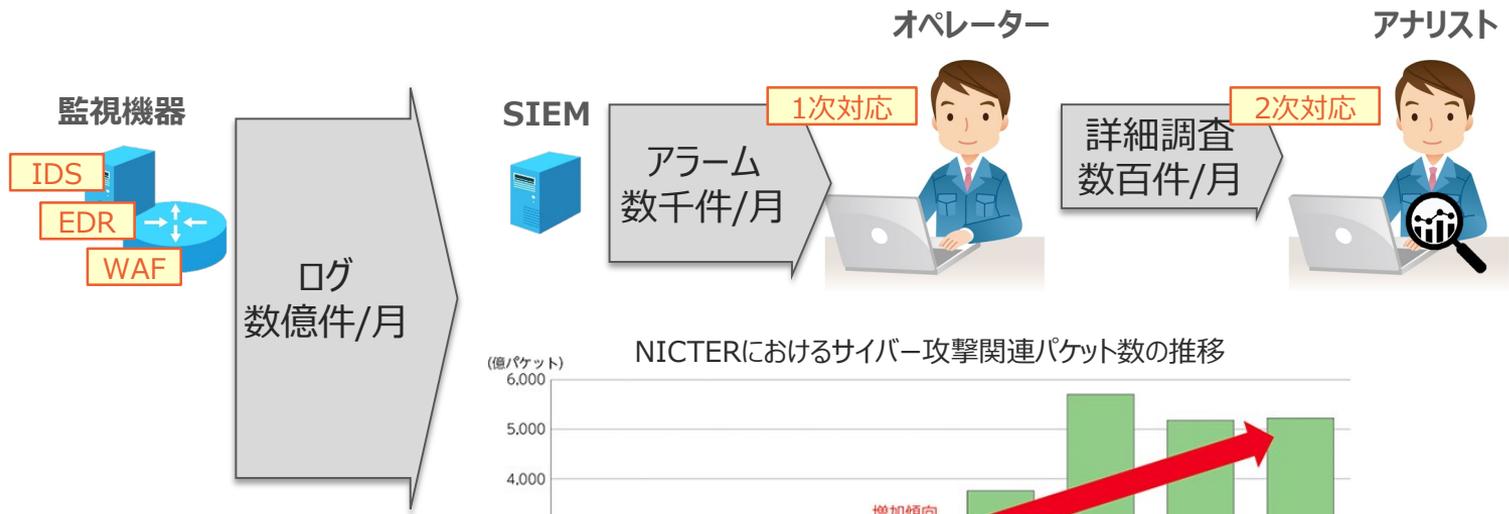
# KDDIのサイバーセキュリティ×AIの適用対象

不正侵入監視、DDoS攻撃対策、NW監視の効率化のためにAI活用を推進



# AI適用ユースケース①不正侵入監視 (1/2)

## 増え続けるサイバー攻撃によるセキュリティ監視業務の負荷増が課題

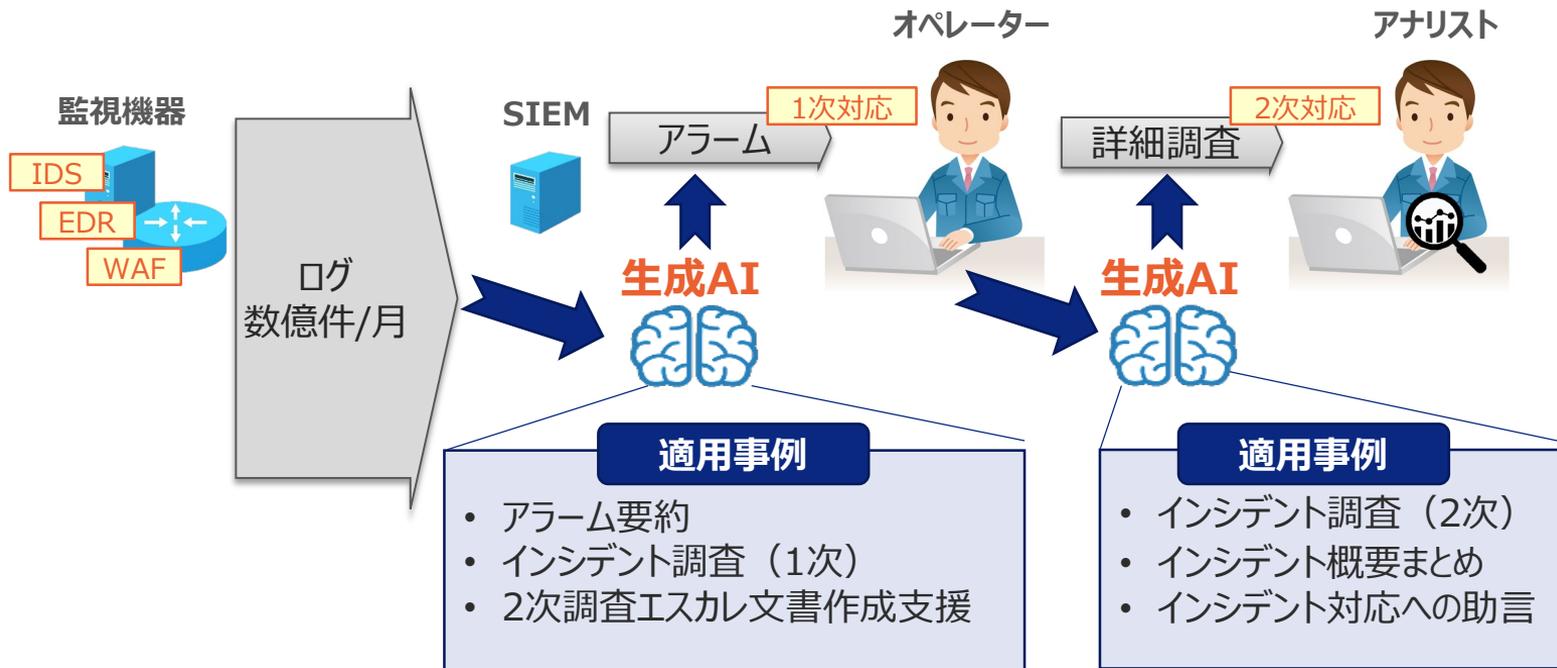


引用：総務省 令和5年情報通信白書

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r05/html/datashu.html#f00270>

# AI適用ユースケース①不正侵入監視 (2/2)

業務効率化のためにセキュリティ監視対応に生成AIを随時適用中

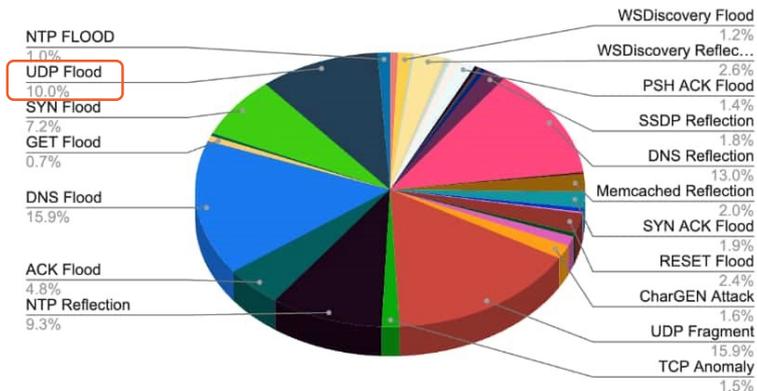


# AI適用ユースケース②DDoS対策 (1/2)

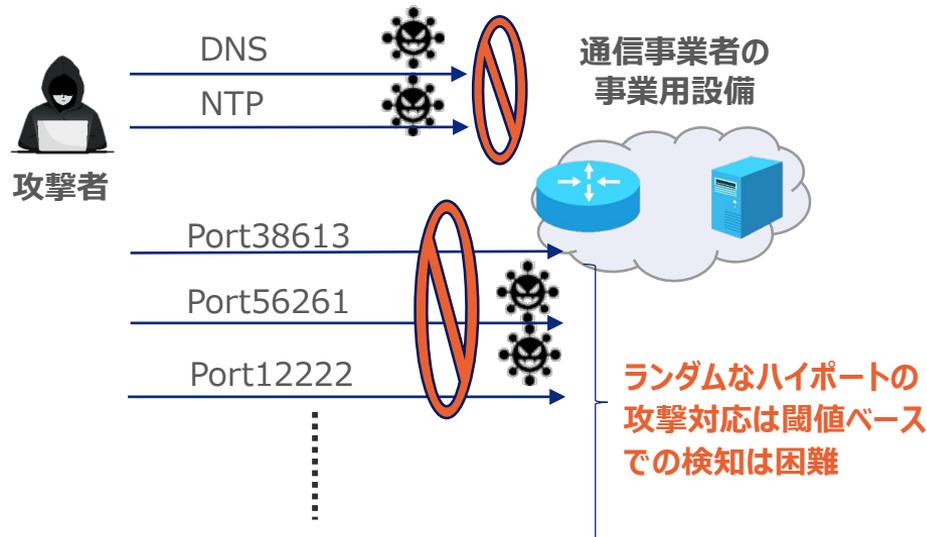
DDoS攻撃が多様化し、単純な閾値での検知が難しくなっている

## DDoS攻撃方法の多様化

2023 Q3 Threat Vector Segmentation



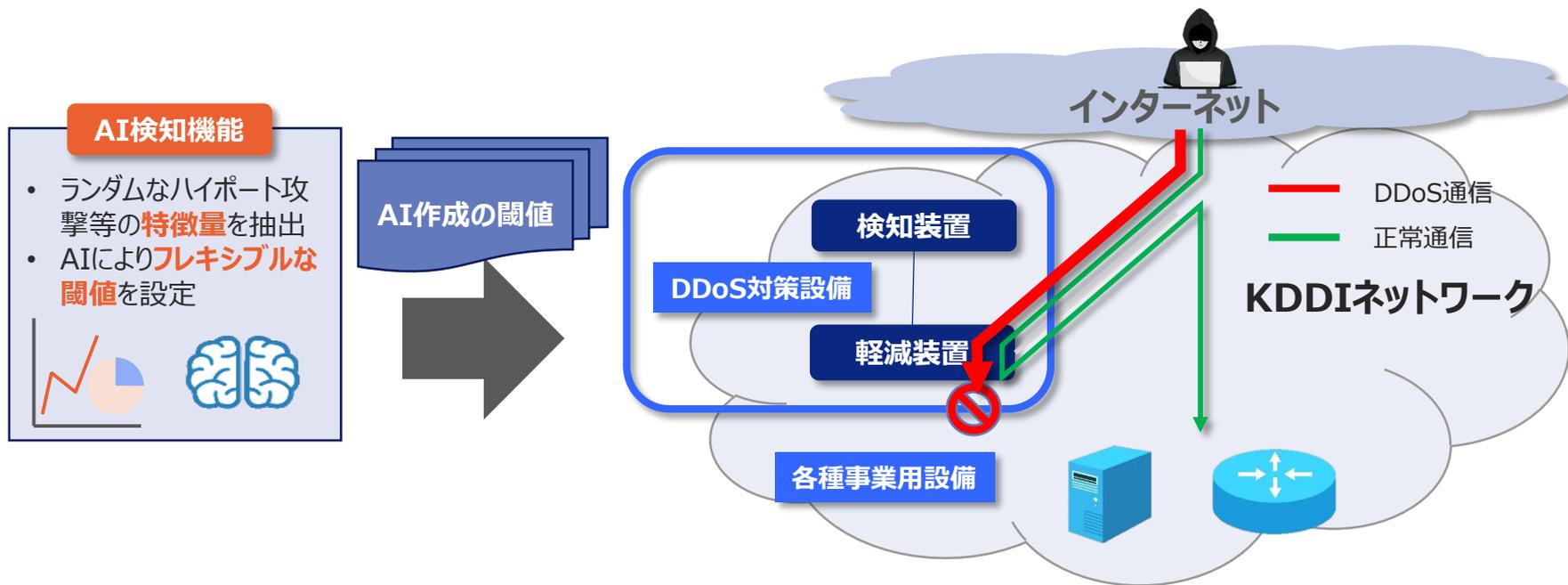
閾値による検知が容易



引用 : Akamai 2023 年の DDoS のトレンドの振り返りと 2024 年の実用的な戦略  
<https://www.akamai.com/ja/blog/security/a-retrospective-on-ddos-trends-in-2023>

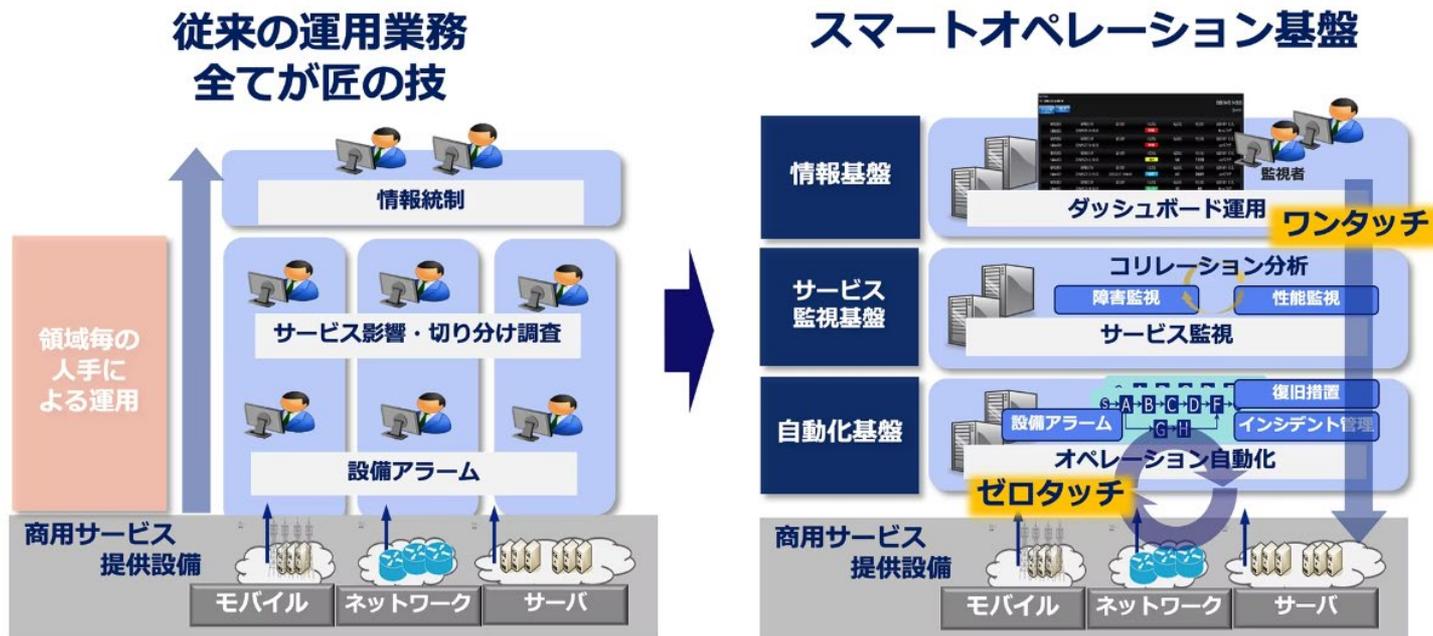
# AI適用ユースケース②DDoS対策 (2/2)

AIの活用により、ルール作成工数削減、DDoS攻撃の検知精度向上を目指す



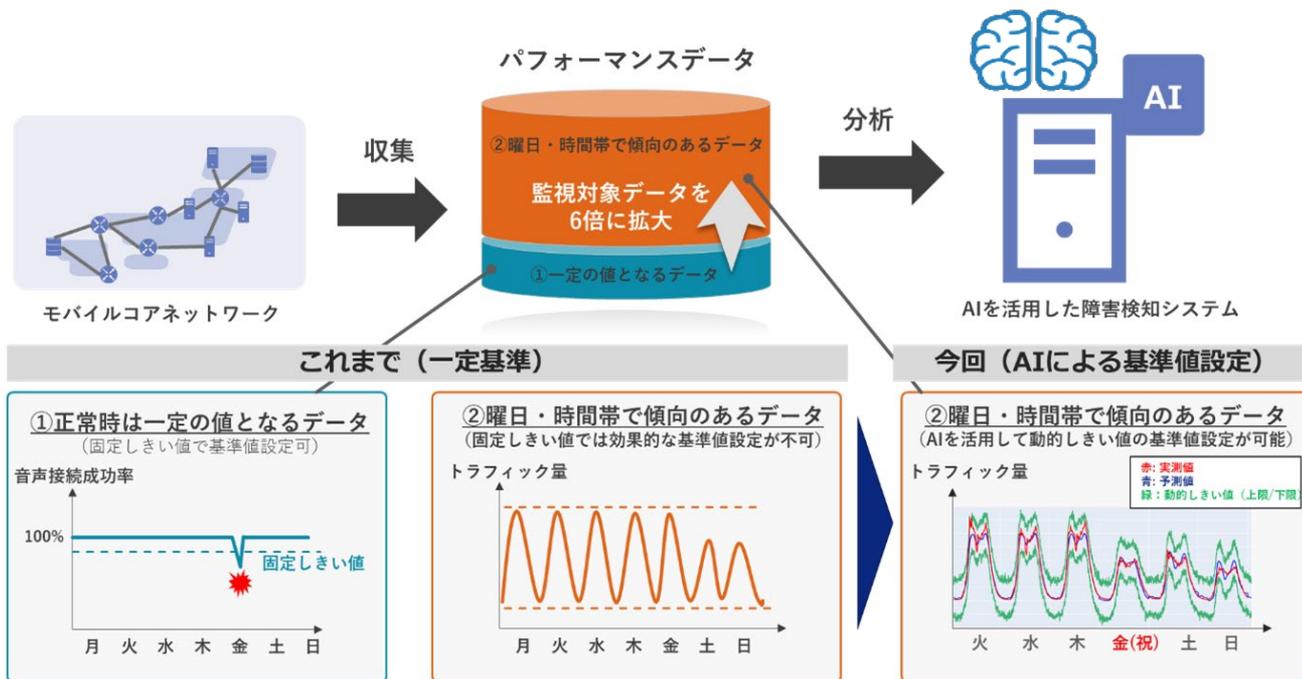
# AI適用ユースケース③NW監視 (1/2)

2016年から運用自動化を進めており、閾値ベースの制御による自動化を実現



# AI適用ユースケース③NW監視 (2/2)

2024年からモバイルNWを対象にAIを活用し、動的閾値による障害検知を開始



引用：AIを活用した障害検知システムの運用を開始  
[https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi\\_pr-1097.html](https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi_pr-1097.html)

# AI適用に向けた課題と取り組み

## AIのリスクを考慮したうえで、信頼できるAI提供に向けた取り組みを推進

### AI適用に向けた課題

- 効率化を目的としたAI適用を進めているが、**リスク**についても考慮が必要。利活用を阻害しないため、**信頼できるAIの導入**に向けた取り組みを並行して推進

#### リスク

AI暴走による  
システム障害

セキュリティホール化

著作権侵害

情報漏洩

#### 信頼できるAI

AIの判断根拠の提示など  
信頼性を向上するAI

### KDDIの信頼できるAIへの取り組み

- 「信頼できるAI」の提供に向けて以下3つの取り組みを実施。  
① AI開発・利活用原則とガイドライン整備、② 研究開発、  
③ 社内運用の整備



<価値観・原則>  
✓信頼できるAIのための  
価値観

<手法>  
✓技術的方法  
✓非技術的方法

<適用>  
✓社内ルール策定・運用

① AI開発・利活用  
原則とガイドライン  
整備

② 研究開発

③ 社内運用の整備

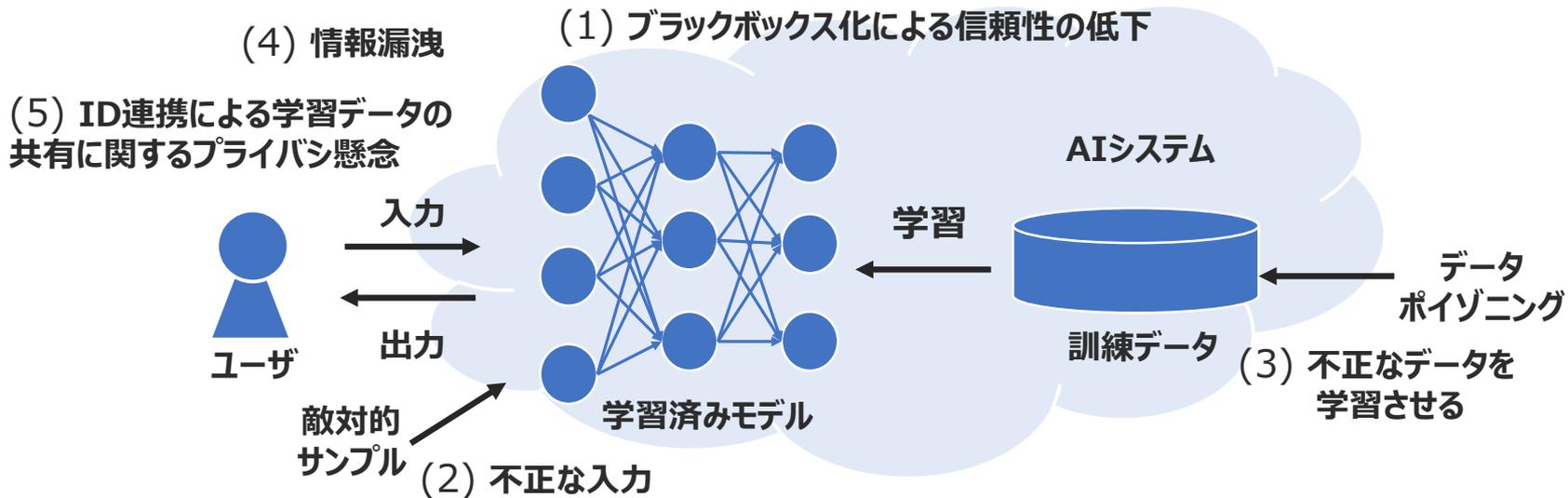
# ① AI開発・利活用原則とガイドライン整備

AIの開発・利活用のための基本原則とこれを詳細化したガイドラインを整備



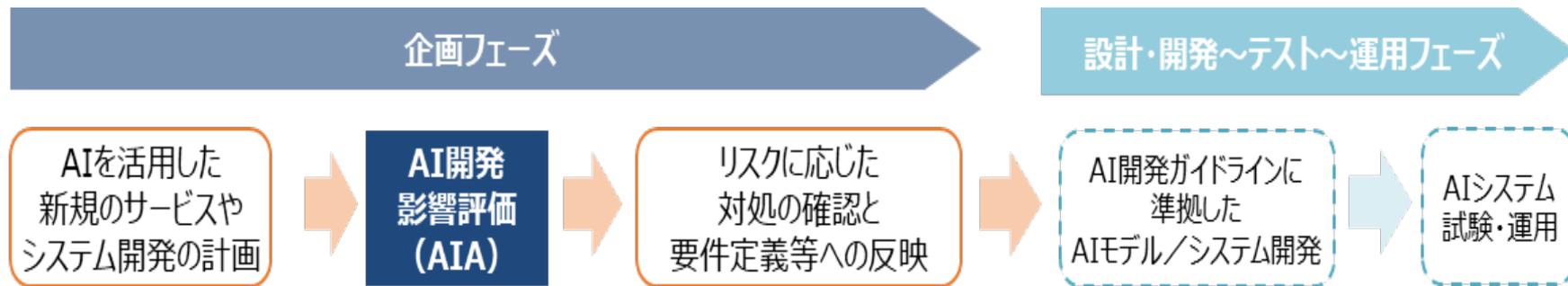
## ② 研究開発

訓練データ、学習モデルに対する攻撃等のAIに対するリスク対策技術を研究



### ③社内運用の整備

AI開発影響評価により、サービス開始前にリスク評価・対策を実施



## 1. AIの適用対象

- ✓ 不正侵入監視、DDoS攻撃対策、NW監視の効率化のためにAI活用を推進

## 2. AI適用のユースケース

- ✓ 業務効率化、固定閾値による運用業務負担増が限界
- ✓ AIにより多種多様な攻撃へフレキシブルに対応

## 3. AI適用に向けた課題と取り組み

- ✓ AI暴走のリスクに対して信頼できるAI導入が必要
- ✓ ①AI開発・利活用原則とガイドライン整備、②研究開発、③社内運用の整備により対応

「つなぐチカラ」を進化させ、  
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

# KDDI VISION 2030

